

# 2015 年度アクアセンター報告

波多 遥

## 1. アクアセンターの管理体制

アクアセンターの管理として、施設管理(プール水質[水温・残留塩素・pH], 備品管理など)、利用者管理(学生利用者、一般開放利用者, 団体利用者), 授業対応, 部活動対応などの施設運営を実施している。

図1は1週間のおおよそのスケジュールである。これから分かるようにアクアセンターの稼働率はかなり高いことがわかる。今年度から水曜日の「キッズ水泳教室」、木曜日の「アクアビクス」2つの新規公開講座が始まったことなどもあり、年間総利用者数も最近3年間では最多利用者数であった。(表1)このため、アクアセンターの管理業務も安全第一として、利用者がいつでも安心・快適に使用できるよう週に1~2回プールサイドの床磨きや、更衣室内などの清掃を行っている。

また、今年度の施設設備の管理に関しては、昨年度に改善したことが多くあった。一般開放時の監視アルバイトや、一般開放時と、授業時のセーフティー台、パネタイル、凝集剤の使用頻度等の経過を見るのが優先的であった。その結果、表1にある使用後のメンテナンス内容を決め、順調な経過がみられた。

これらを活かし、来年度から学生数が年々増加していくことが考えられるため、今年度の経過を見ながらより快適な施設となるよう改善策を思考していく。

	月	火	水	木	金	土	日
AM	競泳 朝練		競泳 朝練			競泳	
	一般開放	公開講座 水泳教室 清掃	一般開放	ロッカーチェック 清掃	1・2限 水中運動法	水球	水球
PM	3・4限 水中運動法	3限 水中運動法 管理業務	志賀北幼 開放 ここチャット 開放 公開講座 キッズ水泳	公開講座 アクアビクス or 一般開放 5限 水泳	公開講座 水中ウォーキング 管理業務	水球	水球
	水球	競泳	水球	いるか教室	競泳		
	競泳	水球	競泳	競泳	水球		
使用 終了時	凝集剤 逆洗		プールロボット	凝集剤 逆洗		*競泳・水球 プール掃除 月1回	プールロボット

表1. アクアセンター1週間のスケジュール

## 2. プール利用者について

### ・学生利用

学生の利用は主に、水泳部(競泳・水球)が利用している。また授業では、水中運動法や、卒業研究などでも利用され、一般学生もリハビリテーションなど多岐において利用している。

今年度の学生利用者が最近 3 年間では最多利用者数となった。この要因は、授業時間以外の一般学生利用人数の増加ではないかと考える。

### ・学外利用者(施設貸し出し)

学外者利用は、3m 水深を活かした消防隊の水難救助訓練や、可動床プールの水深を 60cm に設定し、身障者施設団体がプール療育活動行っている。また長期休み期間や週末には、水泳部(競泳・水球)が他大学や近畿各地の中・高校生との合同練習を行っている。(団体利用一覧参照)

### ・地域貢献事業(一般開放・公開講座)

表 2 から年間開放日数は最近 3 年間では最小日数であったが、年間利用者数は、2013 年度と比較すると少ないが、2014 年度とはほぼ等しい人数であった。しかし、開放日数に対する利用者数として 1 回開放平均利用者数を調べたところ、2013 年度は 11.6 人/回、2014 年度は 13.4 人/回、2015 年度は 14.8 人/回と年々増加していることが分かる。この要因として、地域貢献事業の公開講座(公開講座詳細ページ参照)が大きく影響していると考えられる。表 3 から分かるように公開講座の開催日数と利用者数は 2014 年度で、15 回で 299 名であったが、2015 年度は、59 回で開催日数 811 名と講座日数は約 4 倍、実利用者数は約 3.5 倍増加した。これらの参加者が講座以外の日程で一般開放を利用し、日々の運動を行っていることが利用頻度の増加に大きく寄与していると考えられる。

公開講座と一般開放の相互利用が高まってきていることは、地域住民のへの体力・健康維持に大きく貢献していると考えられる。

表2. アクアセンターにおける一般開放利用者数と開放日数と1回利用者数

	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(名)	1,669	1,502	1,543
開放日数(日)	144	112	104
1回平均利用者数(名)	11.6	13.4	14.8

表3. アクアセンター過去3年間に於ける公開講座の講座回数と利用者数

2013年度 講座名	講座回数(回)	受講者数(名)	実利用者数(名)
水泳教室	5	10	42
水中ウォーキング	20	47	330
合計	25	57	372

  

2014年度 講座名	講座回数(回)	受講者数(名)	実利用者数(名)
水泳教室	5	9	42
水中ウォーキング	10	27	187
合計	15	36	229

  

2015年度 講座名	講座回数(回)	受講者数(名)	実利用者数(名)
水泳教室	16	20	144
キッズ水泳	13	53	294
アクアビクス	10	16	74
水中ウォーキング	20	39	299
合計	59	128	811

### 3. 今年度の改善点

#### ・プール入口シャワー

開学以来センサー感知式シャワーであったが、頻繁に故障しており感知機能も弱くその度に手動にてシャワースイッチを入れており効率が悪かった。そのため、シャワー横にボタンスイッチへの切り替え工事を行った。その後順調に作動している。

#### ・ろ過材の交換

本学のプール水のろ過装置は砂ろ過である。砂ろ過は、約 5 年間でろ過材を交換することが目安であるが、7 年間ろ過材の交換が行われていなかった。そのため、今年度ろ過材の交換を行った。この効果によるろ過機能の向上を期待する。

#### ・男子更衣室ロッカーの増大

来年度から水中運動法の受講者数が増加するため、授業入れ替え時に男子更衣室内のロッカー数が不足することが予想される。よって、現在 96 個のロッカーを 120 個まで増加させた。これによって、ロッカーの数は確保できたが、デメリットとして、更衣室内が狭くなり見通しも悪くなったため、各個人の整理整頓を心がけるよう注意を促していく。

#### 4. 今後の改善点

##### ・グレーチング

6 コースプールのグレーチング(オーバーフローの網状の蓋)の劣化が激しく、一気に大人数が入水するとオーバーフローし、その際にグレーチングがバラバラになり溝が出来てしまう。この溝に気付かずに足がはまると足首の捻挫や骨折などの怪我につながる事が考えられるため、来年度の改善を要望している。